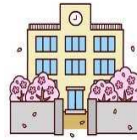


よつば通信



令和2年9月23日
魚津市立よつば小学校
9月号

URL www.yotsuba-e.tym.ed.jp

力を出し切り、やり切ったよつばの子

校長 水橋 渉

先日開催した運動会では、多くの保護者の皆さま、ご家族の皆さま、そして地域の皆様にお越しいただき、温かいご声援をよつばっ子にかけていただき、本当にありがとうございました。今年の運動会は例年と違って多くの変更がありました。それは、新型コロナウイルス感染防止と熱中症対策、授業時間確保のためです。具体的にどんな手立てを考えたのか主なものをQ&Aで説明します。

Q1 どうして、よつばっ子が教室で待機していたの？

A1 狭いテントの中で密にならないこととご来場の皆様の観戦エリアの確保のためです。熱中症対策にもなります。

Q2 どうして、応援合戦がないの？

A2 応援合戦は、すべてのよつばっ子が関わり、多くの練習時間が必要です。授業時間を確保するためです。また、応援合戦はなくなりましたが、その代わりに、6年生が「届け！よつばエール」を披露しました。6年生は今年、学年での活動を行っていません。6年生が3つの色に分かれて競い合うのではなく、6年生全員で同じ種目をして一体感を味わうことで、よつば小の最上級生としてのプライドをもち、学年のまとまりや絆を強めていくと考えたからです。

Q3 どうして種目数が減ったの？

A3 種目数が少なくなれば、午前中に終了します。運動会の時間を短くすると、多くの人たちが同じ場所にいることを避けられるからです。これと同じ理由で、入場行進等なくしました。

Q4 ご来場の人たちの密を避けるために工夫したことは？

A4 観覧エリアをできるだけ広くするために、共用エリアを設け、そこに4張りのテントを立てました。運動会前日にPTAの役員の方々に設営をしていただきました。片付けも、PTAの役員の方に保護者のご協力をいただきました。ありがとうございました。また、職員室上のテラスやピロティーを開放しました。

出場種目が少なく、実施時間が短かったにもかかわらず、よつばプライド（よつばの子ならできる、よつばの子だからできる）をもった、よつばの子がたくさんいました。それは、**力を出し切る、やりきる**姿です。たとえ走っている前の人に数十メートル離されても、絶対あきらめない、一生懸命に追いかける、よつばの子がいました。今年の運動会で、心をたくましく成長させたことと思います。今後もよつばっ子の成長をご期待願います。

なお、今年の運動会のやり方等を「運動会、よつばスタイル」として継続することも考えています。ご意見、ご感想をお寄せください。

さすが、
よつばっ子

9月のある日、帰り際に大粒の雨が降り出しました。20人ほどのよつばっ子が傘を持っていません。そこで、学校の傘を貸し出しました。学校の傘立てを見ると、翌日、翌々日の間に、貸し出した傘24本すべてが戻されていました。「借りた物は返す」という当たり前のことを当たり前でできる、よつばっ子、さすがです。

